

# 変化の程度を表す 「大きく」「激しく」について

張志剛

## ✦要旨

**動**詞を修飾する形容詞連用形は、基本的に「動作の結果状態」または「動作の様態」を表すと言われる。本稿では、「大きく」「激しく」を例にあげ、それ以外に「変化の程度」を表す形容詞連用形があることを述べる。また、「大きく」「激しく」が「変化の程度」を表すのは、[-限界/進展的変化]の動詞句が「変化の程度の進展」という意味での進展性を持つためであることを述べる。

## ✦キーワード

形容詞、大きく、激しく、変化の程度、進展性

## ✦ABSTRACT

The adverbial form of adjectives for connecting with a verb generally describes the result of an action or the manner of an action. Taking the words *Ookiku* and *Hageshiku* as examples, this paper stated that the adverbial form of adjectives can also describe the degree of change. It was also stated that *Ookiku* and *Hageshiku* were able to describe the degree of change because verbs meaning [-limit/progressive change] could express the progressivity in degree of change.

## ✦KEY WORDS

Adjectives, *Ookiku*, *Hageshiku*, Degree of change, Progressivity

## On the Japanese Adverbial Forms *Ookiku* and *Hageshiku*

ZHANG ZHIGANG

# 1 はじめに

形容詞の連用形が動詞を修飾する場合、大きく「動作の結果状態」を表す場合と「動作の様態」を表す場合があることが、先行研究（西尾1972, 仁田1983）によって指摘されている。

(1) の「大きく、太く、赤く」は「染め上げる、書く、塗る」という動作の結果状態を表す。この場合、形容詞は主体変化動詞、主体動作・客体変化動詞（工藤1995）が表す変化の側面を修飾している。

- (1) a. 白地に紺一色で葉げいとうを大きく染め上げた、すがすがしい柄。  
(婦人倶楽部 1956年5月76) (西尾1972:68より)
- b. 「討袁」の二字を太く墨で書いた白旗が何十本となく風に動いているが、  
(人物往来 1956年9月135) (西尾1972:68より)
- c. 女は爪を赤く塗っていた。  
(仁田1983:19)

(2) の「円く、軽く、強く」は「転ぶ、かける、抑える」という動作の様態を表す。この場合、形容詞は動詞の動きの側面を修飾する。

- (2) a. それが船の傾斜に沿って、機械の下や荷物の中に、光ながら円く転んで行った。  
(蟹工船 66-67) (西尾1972:69より)
- b. 刑事は軽く彼の両肩に手をかけ、  
(協、199) (仁田1983:20より)
- c. ……議論でもしているように強く頭から抑えて、  
(婦、181) (仁田1983:20より)

しかし、形容詞の連用形が動詞を修飾する場合、単に「動作の結果状態」や「動作の様態」を表すとは言えないものもある。たとえば、(3) の「大きく」は、「救済対象が大きくなった」ということを表すわけではない点で、(1) の「大きく、太く、赤く」と異なる（詳しくは後述）。

- (3) 消費者契約法施行以前の入学辞退者にも授業料返還を命じた高裁判決は、大学の財政事情より、多額の授業料納付を迫られる受験生側の苦境に重きを置き、救済対象を大きく広げた。  
(読売新聞2004.09.11)

また、(4) の「激しく」は、「著しく」に近い程度的な意味を表す点で、(2) の「円く、軽く、強く」と異なる。

- (4) 大火のため、あの街の人口が激しく減った。  
(作例)

本稿では、(3) の「大きく」、(4) の「激しく」のような形容詞連用形の表す意味とその文法的な位置づけについて考察する。

## 2 「大きく広がる」の「大きく」の性質

まず、先の(3)「救済対象を大きく広げた」の「大きく」の性質について考える。

### 2.1 主述関係

冒頭にあげた(1)「葉げいとうを大きく染め上げた」、「字を太く書いた」、「爪を赤く塗っていた」の「大きく、太く、赤く」は、動作の結果状態を表す。この場合、(i) 目的語と形容詞連用形との間には主述関係が成立するが、(ii) 動詞と形容詞連用形との間に「V方がA」という関係は成立しない。

- (5) a. 葉げいとうを大きく染め上げた。(= (1)a)  
b. 葉げいとうが大きい。  
c. \*染め上げ方が大きい。
- (6) a. 字を太く書いた。(= (1)b)  
b. 字が太い。  
c. \*書き方が太い。

- (7) a. 爪を赤く塗っていた。(= (1)c)  
 b. 爪が赤い。  
 c. \*塗り方が赤い。

次の (8) の「大きく」についても同じである。

- (8) a. それは、今ある街路樹や公園の樹木を大きく育てることで。  
(読売新聞 2004.07.27)  
 b. 樹木が大きい。  
 c. \*樹木の育て方が大きい。

これに対し、同じ「大きく」でも、先の (3) 「救済対象を大きく広げた」、および次の (10)a の場合は、(i) 目的語と形容詞連用形との間に主述関係が成立しない、(ii) 動詞と形容詞連用形との間に「V方がA」という関係が成立する、という二つの点で、(5)～(8) の「大きく、太く、赤く」とは異なるところがある。

- (9) a. 救済対象を大きく広げた。(= (3))  
 b. \*救済対象が大きい。  
 c. 広げ方が大きい。  
 (10) a. 東京駅丸の内南口近くに、空に向かって両手を大きく広げたブロンズ像がある。  
(読売新聞 2004.08.15)  
 b. \*両手が大きい。  
 c. 両手の広げ方が大きい。

(9)a、(10)a の「大きく」は、形容詞連用形と動詞との間に「V方がA」という関係が成立するという点で、形容詞連用形が動作の結果状態を表す場合よりは、動作の様態を表す場合に近い。

- (11) a. 手を軽くかけた。(動作の様態)  
 b. 手のかけ方が軽い。

- (12) a. 強く抑える。(動作の様態)  
 b. 抑え方が強い。

## 2.2 程度表現への言い換え

意味的に見れば、(9)a、(10)a の「大きく」は程度表現に近い意味を表す。実際、(9)a、(10)a の「大きく」は、程度表現「かなり、著しく」や「大幅に」と置き換えても、それほど意味は変わらない。

- (13) a. 救済対象を大きく広げた。  
 b. 救済対象を {かなり／著しく／大幅に} 広げた。  
 (14) a. 両手を大きく広げた。  
 b. 両手を {かなり／著しく} 広げた。

これに対して、結果状態を表す形容詞を「かなり」で言い換えると、量や程度を表すことになり、意味が大きく変わる。また、「著しく」と置き換えることもできない。

- (15) a. 葉げいとうを大きく染め上げた。  
 b. 葉げいとうをかなり染め上げた。(程度・量)  
 c. \*葉げいとうを著しく染め上げた。  
 (16) a. 字を太く書いた。  
 b. 字をかなり書いた。(量)  
 c. \*字を著しく書いた。  
 (17) a. 爪を赤く塗っていた。  
 b. 爪をかなり塗っていた。(程度・量)  
 c. \*爪を著しく塗っていた。  
 (18) a. 樹木を大きく育てた。  
 b. 樹木をかなり育てた。(程度・量)  
 c. \*樹木を著しく育てた。

## 2.3 「変化の程度」を表す「大きく」

2.1、2.2で見たことをまとめると、「救済対象を大きく広げた」、「両手を大きく広げた」の「大きく」は、基本的には動作の様態を表すが、そこに「変化の程度」という程度の意味が含まれるものと見ることができる。次のような「大きく」も同じように考えることができる。

(19) あの力士は、今場所大きく勝ち越した(負け越した)。

このような「大きく」の意味は、次の図1のような物事の変化のプロセスの図式の中で位置づけることができる。

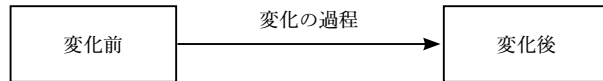


図1 物事の変化のプロセス

物事の変化は、「変化前」の状態、「変化の過程」、「変化後」の状態、という三つの局面からなる。「葉げいとを大きく染め上げた」、「字を太く書いた」、「爪を赤く塗っていた」の「大きく、太く、赤く」のように、動作の結果状態を表す形容詞は、図1の「変化後」の状態に焦点をあてている。

これに対し、「救済対象を大きく広げた」、「両手を大きく広げた」の「大きく」は、「変化後」の状態に焦点をあてているというよりは、「変化の過程」で生じた差が大きいということを表している。これらの「大きく」が基本的には動作の様態を表すというのも、図1における「変化の過程」のあり方を限定しているということであろう。

このことは、変化の程度を表す「大きく」と共起する動詞の意味特徴にも反映される。

佐野(1998)は、変化が進展的・漸次的に進むことを表す動詞(進展的変化の動詞句)を「進展性の限界の有無」(いったん成立した結果状態がさらに変化する可能性を持つか持たないか)によって、[+限界/進展的変化]の動詞句と[-限界/

進展的変化]の動詞句に分けている。

- (20) a. [+限界/進展的変化] 動詞句  
沸く、溶ける、枯れる、(魚が)焼ける、等  
b. [-限界/進展的変化] 動詞句  
広まる、上がる、太る、伸びる、等 (佐野1998:9-10)

「大きく」が変化の程度を表すのは、[-限界/進展的変化]の動詞句と共起する場合である。

- (21) a. 人口が少しずつ減る。[-限界/進展的変化]  
b. 人口が大きく減った。  
(22) a. 生産量が少しずつ伸びる。[-限界/進展的変化]  
b. 生産量が大きく伸びた。  
(23) a. 砂糖が少しずつ溶ける。[+限界/進展的変化]  
b. \*砂糖が大きく溶けた。  
(24) a. 湯が少しずつ沸く。[+限界/進展的変化]  
b. \*湯が大きく沸いた。

進展的変化を表す「少しずつ」は、「時間の流れの進展」という「時間」的な観点から、図1の「変化の過程」を限定すると考えられる。一方、変化の程度を表す「大きく」は、「変化の程度の進展」という「程度」的な観点から、図1の「変化の過程」を限定すると考えられる。「大きく」が変化の程度を表すのは、[-限界/進展的変化]の動詞句と共起する場合に限られる。それは、[+限界/進展的変化]の動詞句における「変化の過程」には、「時間」的な進展性は想定できても、「程度」的な進展性が想定できないからであろう。

## 3 変化の程度を表す「激しく」

変化の程度を表す「大きく」に似た性質を持つ形容詞連用形に「激しく」がある。

- (25) a. 人口が {大きく／激しく} 減った。  
 b. 生産量が {大きく／激しく} 伸びた。

この種の「激しく」も、「かなり、著しく」と置き換えても、それほど大きく意味が変わるわけではない。

- (26) a. 人口が {かなり／著しく} 減った。  
 b. 生産量が {かなり／著しく} 伸びた。

また、「激しく」が変化の程度を表すのも、やはり [－限界／進展的变化] の動詞句と共に起る場合に限られる。

- (27) a. \*砂糖が {大きく／激しく} 溶けた。  
 b. \*湯が {大きく／激しく} 沸いた。  
 (a, bともに「激しく」は動作の様態の意味では可。)

変化の程度を表す「大きく」と「激しく」の違いは、「大きく」が「差が大きい」という比較に焦点をあてているのに対し、「激しく」は「変化が急激である」という変化の様態に焦点をあてているという違いがある。

- (28) a. あの街は人口が大きく減った。  
 b. あの街は人口が激しく減った。

「激しく」が、「大きく」と同様に「変化の程度」を表すのは、形容詞「大きい」「激しい」自体に「程度差」を表す用法があることと関係すると思われる。

- (29) 個人差が {大きい／激しい}。

「変化の程度」を表す形容詞連用形には、「著しく」「甚だしく」がある。しかし、これらは形容詞も修飾できる点で、「大きく」「激しく」とは異なる。

- (30) a. 物価が {著しく／甚だしく} 上がった。  
 b. 物価が {大きく／激しく} 上がった。  
 (31) a. 物価が {著しく／甚だしく} 高い。  
 b. \*物価が {大きく／激しく} 高い。

「大きく」「激しく」は、あくまで変化前と変化後の「差」に焦点をあてているのであり、「著しく」「甚だしく」のように、変化の結果生じた状態の程度を表すわけではない。

## 4 おわりに

本論では、「大きく」「激しく」を例にあげ、形容詞連用形が動詞を修飾する場合に、「動作の結果状態」、「動作の様態」のほかに、「変化の程度」を表すものがあることを述べた。そして、その背景に、[－限界／進展的变化]の動詞句における進展性が、「時間の流れの進展」というよりは、「変化の程度の進展」というものであることがあることを見た。

〈一橋大学大学院生〉

### 参考文献

- 工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現』ひつじ書房  
 佐野由紀子 (1998) 「程度副詞と主体変化動詞との共起」『日本語科学』3, pp.7-21. 国立国語研究所  
 西尾寅弥 (1972) 『形容詞の意味・用法の記述的研究』(国立国語研究所報告44) 秀英出版  
 仁田義雄 (1983) 「動詞に係る副詞的修飾成分の諸相」『日本語学』2(10), pp.18-29. 明治書院